



本町の特性を生かした 持続的な地域づくりの実現

羽幌町長 駒井 久晃

新年 明けましておめでとうございます。
輝かしい平成28年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様には、平素より町行政に対し、深いご理解と温かいご支援・ご協力を賜り、心から深く感謝を申し上げます。

昨年を少し振り返りますと、3月には、児童へのきめ細やかな取組を展開するとして「羽幌子ども子育て支援事業計画」を策定、5月には、天売島において漁船を活用した新たな観光船事業を開始し、6月には、次代を担う子どもたちのための羽幌小学校の改築工事を開始したところであります。

また、本町出身の女子大学生柔道家による国際大会2大会での優勝や羽幌高校ラグビー部の新人戦で

の単独チームによる3年振りの優勝更には、羽幌高校出身の監督率いる明治大学ラグビー部の関東大学対抗戦での1位など、スポーツにおいて活発な年でありました。

基幹産業であります農業につきましては、全般的には減収傾向ではあったものの、水稲においては、品質は平年並みを維持しており、市場のニーズに対応できる羽幌産米の生産出荷の促進に期待を寄せております。

漁業につきましては、全体的に漁獲量は増えているものの、一部の魚種で漁獲量が減少し、特に「サケ」においては、10月の暴風被害により前年と比べ大幅に落ち込んでおります。しかしながら、多くの魚種で魚価は上昇しており、本年も豊漁の一年となるよう願っております。

さて、日本国内の状況を見ますと、

低迷を続けていた日本経済も、また一部に弱さはみられるものの、緩やかな回復基調に向かうものと期待されていると言われておりますが、我が町をはじめとして、地方においては、景気の回復は、なかなか感じられていない状況にあります。

こうした中、昨年10月、急速に進む人口減少や高齢化社会に歯止めをかけるため、本町の更なる魅力向上を目指し、「まちの活性化」及び「人口減少を克服する」ための施策の方向性を示した「羽幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定いたしました。

これからのまちづくりにおいては、本町の特性を生かした持続可能な地域づくりを実現すべく、効果的な施策の推進を図ってまいりたいと考えております。

今後も様々な課題が山積するな

かで、懸案でありました汚水処理共同施設が完成し、本年4月より、3町村のし尿処理方法が新しくなります。また、羽幌高校や天売高校における生徒確保を図るための新たな取組も進めることとしておりますので、町民皆様のご協力とご指導を賜りながら積極的に対応してまいりたいと考えております。

本年も、依然として厳しい経済状況も予想されますが、職員ともども町民の皆様が幸せを実感できる「まちづくり」を進めてまいりたいと考えておりますので、今後におきましても、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

終りに、町民の皆様には、今年一年健康には十分ご留意いただき、元気で充実した一年となりますことを心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



信頼され期待される

羽幌町議会をめぐりして

森 淳

新年明けましておめでとうございます。平成28年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様には、日頃より議会活動に

対し温かいご理解とご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。本町議会は、昨年4月の統一地方選で皆様の負託を受けた議員11名により、5月の初議会からスタートしました。

昨年を顧みますと、国内では、選挙権年齢を18歳以上に引き下げる改正公選法や、国会内、外でも大きな論戦となった安保関連法の成立があった中、第3次安倍改造内閣が発足し地方創生担当大臣や新たに一億総活躍担当大臣が任命され、経済再生・地方創生を前面に掲げながら国政課題に立ち向かっているものの、地方では特に人口減少問題や景気回復が実感されない状況と言えます。このほか、重要課題

のTPP交渉が大筋合意されましたが、国内をはじめ道内、本町においてもその影響が懸念されております。

又、年金情報の外部流出や免震装置ゴム・くい打ちデータの改ざん発覚による社会問題や、茨城県では鬼怒川の堤防が決壊するなど自然災害も勃発しました。

一方、ノーベル賞では日本人2人が受賞となり、国民に大きな喜びと感動が与えられ、道内では、北海道新幹線開業が本年3月26日と決定し、地域経済活性化の期待が大きく膨らんでおります。

本町では、羽幌小学校校舎改築工事がスタートし、児童はじめ町民の皆様も期待が大きく膨らんでいるものと推察しております。

基幹産業の農業・漁業においては、低気圧接近による暴風のため被害が発生し影響があった中、農

業では農作物が全般的に減収傾向となりましたが、漁業では全体の漁獲量・販売取扱高ともに昨年より増加しました。

商工業では、国の交付金を活用したプレミアム付商品券事業が有意義な取り組みとなり、スタンブラリーとともに消費喚起を促す地域活性化の一助となりました。各産業を取り巻く環境は未だ厳しい情勢にあります。経営安定に向けた取り組みを一層進めていかなければなりません。

昨年10月に、地方創生のため「羽幌町人口ビジョン」「羽幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定されましたが、議会では「羽幌創生特別委員会」を設置し、事業提案も行うなど積極的な取り組みを行っております。全国的な課題である公共施設の更新については本町も例外ではなく、同様に「公共施設マ

ネジメント調査研究特別委員会を設置し、施設のあり方等も勘案し議論を進めております。

懸案事項のし尿等収集運搬・処分料金については結論に至りませんが、医療体制の充実、産業廃棄物埋立処分場、焼尻めん羊牧場、羽幌港のアクセス道路や静穏度対策、羽幌保育園等大きな課題については更なる審議・検討をしてまいります。

本年においてもこれら山積する懸案事項の解決に向け、議員一丸となって誠心誠意取り組みながら、信頼され期待される羽幌町議会を目指してまいる所存でありますので、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

新しい年が、皆様にとって健康で喜びと幸せに満ちた一年でありますようお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。